



データサイエンティスト養成講座

～データを分析してディスカッションしよう～

◆カリキュラムの特徴

座学では学習しづらい、分析データのクリーニングやデータハンドリング、様々な分析手法の選択などを、実際に課題を解決する中で学習して身につけることができます。

◆受講対象者

法人会員企業所属の「見習いレベル※1」～「独り立ちレベル※1」を目指す方
統計の基礎的知識は身につけていて、集計などによる分析経験はあるが、
モデル作成は未経験あるいは初心者の方が望ましい。

◆講師

当協会の法人会員に所属している気鋭のデータサイエンティスト
(各種コンペ上位入賞者を含む)が講師を務めます。

※1.データサイエンティスト協会が定めるスキルレベル。詳しくはリンク先を参照ください。
<https://www.datascientist.or.jp/common/docs/skillcheck.pdf>

| | |
|------|---------------------------------------|
| 開催日時 | 2016年5月～8月 (全8回) |
| 会場 | 東京都渋谷区 |
| 定員 | 30名 |
| 持ち物 | R (本体+指定するパッケージ) とRStudioインストール済ノートPC |
| 主催 | 一般社団法人データサイエンティスト協会 企画委員会 |

| | |
|-------|---|
| 1日目 | 開校式 講座のオーバービュー説明 Rのインストール（済んでいない人） R studioの使い方（知らない人） コンペ内容の説明とデータの配布 データの読み込みとデータ特性の把握 判別に利用するパッケージのロジックと機能説明 とりあえずのモデリング 次回の課題（データクリーニングの実施） |
| 2日目 | データクリーニングの進捗の確認 各自のスコア提示と工夫した点の発表 利用手法・パッケージの拡大（ロジックと機能説明） Feature Engineering について Forum の使い方について（Q & Aの方法） 次回以降の課題の進め方について |
| 3～7日目 | 3人～4人を1チームとして課題に取り組む 各チームの成果報告： 特に、パラメータチューニング、Feature Engineering の工夫など サブテーマ： Ensemble, CrossValidation などを解説 |
| 8日目 | ラップアップ： 各チームの成績レビュー 講座運営に関するフィードバック 修了式（乾杯） |

◆フォーラムの開設

受講者同士の情報共有およびディスカッションを行う場として、ネット上にフォーラムを開設いたします。また、講師が質問や相談を受け付けます。

**2016年5月開校分の申し込み受付は、終了しております。
次回講座は決まり次第、ご案内いたします。**

【お問い合わせ先】

一般社団法人データサイエンティスト協会 データサイエンティスト養成講座 事務局
Mail : ds.training.program@datascientist.or.jp